

政治・経済定点観測レポート

## ウズベキスタン NOW

【第2号:2008年9 - 10月期】

\* 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

### 1 . 政治動向

#### 国防省の新人事

2008年9月17日、ウズベキスタン共和国国防相が更迭された。新国防相には非常事態相、ウズベキスタン国防省南西軍管区司令官を務めた K・ベルディエフが任命された。前国防相の R・ミルザエフはウズベキスタン共和国大統領付属国家安全保障会議副書記に任命され、国軍創設の問題を担当する。国防省首脳の交代は政治的変動の結果ではない。「国家安全保障コンセプト」と「国防ドクトリン」に変化はない。新人事の狙いは政治指導部の軍事分野における決定の遂行効率を向上させることにある。

#### EUの対ウズベキスタン制裁緩和

外交分野におけるこの時期の主要な成果は、欧州連合（EU）が10月13日、ルクセンブルクで開催された EU27 カ国外相会議において、兵器輸出禁止を除くウズベキスタンに対する制裁措置解除を決定したことである。EU は、2005年5月に起きたアンディジャン事件に関連し、同年10月よりウズベキスタンに対して首脳部へのビザ発給制限と兵器禁輸の形で制裁を発動していた。制裁緩和はウズベキスタンと西側との政治対話の拡大だけでなく、双方の貿易・経済協力促進にも良好な展望を開くものとなる。

#### その他の要人往来

当該期間、伝統的なパートナー諸国との間では、首脳レベルによる活発な二国間対話が続いた。特筆すべきは、9月1日～2日のプーチン・ロシア首相のウズベキスタン訪問であり、この半年間で最も高レベルの外国首脳の来訪となった。一方、カリモフ・ウズベキスタン大統領は9月11日からアゼルバイジャンを公式訪問、10月にはラトヴィア大統領が来訪した。こうした首脳レベルの交

流の活発化は、国際社会におけるウズベキスタンをめぐる環境改善の兆候として、国内のウォッチャーから楽観的に受け止められている。

## 中央アジア国家間の水・電力需給調整

当該期間における中央アジアに関わる主要な出来事は、10月初めにビシケクで開催されたユーラシア経済共同体首脳会議の際の中央アジア首脳会議において、ウズベキスタン、キルギス、カザフスタン、タジキスタン、トルクメニスタンの間で**2008～2009**年の冬季および植物生育期間における域内共有の水資源および電力の協調利用に関する合意がなされたことである。これに対応し、ウズベキスタンは**2009**年第1四半期のキルギスに対する天然ガス安定供給のため、**2008**年第1四半期の同国向け供給量を1億**5,000**万 $\text{m}^3$ 上回る量の備蓄を捻出する。同会議において、中央アジア5カ国の大統領は、生起する問題を共同で解決しようとする熱意を如何なく発揮した。5カ国による合意が目指しているのは、キルギスの国内貯水池の水位を維持し、植物生育期における隣接諸国の灌漑用水の需要を満たすことである。

また、会議中にウズベキスタン・タジキスタン両国大統領は、トルクメニスタンの電力をウズベキスタンの電力系統経由でトランジットすることに関して合意した。国家間条約により、秋・冬期にタジキスタンはウズベキスタンの電力を6億**kWh**受け取り、見返りに夏期はウズベキスタンへ9億**kWh**の電力を輸出している。**2008**年、タジキスタンとトルクメニスタン両国の電力関係者の間で、ウズベキスタンの電力系統経由で約**13**億**kWh**に上る電力をタジキスタンへ供給することが合意された。これによりトルクメニスタンはタジキスタン、キルギスへ追加の電力を売却する義務を負い、ウズベキスタンは電力トランジットを保障する義務を負った。協定には各当事国の義務が明記されている。ウズベキスタンは、カザフスタンに通告量、契約量を超過して1億**5,000**万 $\text{m}^3$ の天然ガスを供給した場合、後者は重油と石炭をウズベキスタンへ供給することになる。カザフスタンは次の植物生育期間における電力代金を前払いする。

## 2 . 経済動向

### 携帯電話加入者数が1,020万人に到達

9月1日現在のデータによると、ウズベキスタンの携帯電話加入者数は**1,020**万人を突破した。**2008**年初めの加入者数は約**590**万人であり、本年末までに携帯電話加入者数はおよそ**1,300**万人に到達する予測である。現在、ウズベキス

タンの携帯電話オペレーター会社は次の5社である—**MTS**-ウズベキスタン（商標“ウズドゥンロビタ”、**GSM**方式）、**Unitel**（商標“ビライン”、**GSM**方式）、**COSCOM**（商標 **Ucell**、**GSM**方式）、**Rubicon Wireless**（商標 **Perfectum Mobile**、**CDMA**方式）、**Uzbektelecom Mobile**（商標 **Uzmobile**、**CDMA**方式）。

### ウズベクネフチェガスと韓国開発銀行が契約に調印

9月18日、タシケントで「ウズベクネフチェガス」と韓国開発銀行（**UzKDB**）の間でプロジェクト「昇圧ポンプステーション建設を含むデンギズクル・ガスの予備調製装置修復」に関する融資契約の調印が行われた。この契約はデンギズクル・ガスの予備調製装置修復と昇圧ポンプステーションの建設への融資を定めている。承認された作業予定表によると、施設は**2008**年第4四半期に稼働を開始する。プロジェクト費用は**7,700**万ドル超。ファイナンスはウズベキスタン改修・発展基金の資金、韓国開発銀行の融資、ウズベクネフチェガスの自己資金により行われる。プロジェクトの実現可能性調査によれば、昇圧ポンプステーションは年間**30**億 $m^3$ のガスを処理する能力を持つ。

### 上海協力機構枠内の貿易・経済関係発展

9月24～25日、北京で第7回**SCO**加盟諸国外国貿易・対外経済関係担当大臣会合が開催された。出席者は「多国間貿易・経済協力プログラム」（輸送、電気通信、最新テクノロジー、農業、エネルギー産業の分野における各共同プロジェクト）の実施問題、ならびに**SCO**諸国の持続的・経済発展のための投資誘致メカニズム整備の問題を審議した。これらのメカニズムの更なる発展は何よりも中国とロシアにとって有益である。何故ならこれによって中央アジア諸国との政治的合意を企業レベルでの関係強化によって補完することが可能になるからだ。

### 「株式会社法」の修正

ウズベキスタン大統領は9月26日、法律「株式会社と株主の権利保護について」に変更と補足を加えることに関する法律に署名した。法律の修正は**2008**年5月21日に立法院により採択され、8月28日上院が承認した。この法律により、非公開株式会社の定款資本金最低額は、会社の国家登記当日の中央銀行為替レートで5万ドル相当額以上でなければならない。この基準は**2009**年1月1日より発効する。こうして政府は、国内ビジネスの資本化向上プロセス刺激政策を継続している。ちなみにこれまでも、商業銀行の定款資本金最低額引き上げに関する決定などが採択された。

## 世界銀行、国際金融公社の報告書『ビジネス環境の現状 2009』発表

世界銀行と国際金融公社（IFC）は、ビジネス実施の環境に関する年次報告書『ビジネス環境の現状 2009』を提出した。本報告書内でウズベキスタンは世界 181 カ国中のランキングが 145 位から 138 位へと格上げされている。報告書によれば、ウズベキスタンでは信用情報交換システムが効率的に機能し始め、「全国信用情報機関」、「銀行間信用情報ビューロー」が設立された。その結果、「投資情報深度指数」では 50 ポイント上昇、改革の中では 2007 年の利潤税と単一納税の税率引き下げの結果として税負担が減少したことを特筆しておかねばならない。そのほか、『ビジネス環境の現状 2009』ではウズベキスタンで新たな税法典が採択されたことを指摘している。

## タシケントで中央アジア工業週間

10 月 2～4 日タシケントの「ウズエクスポセンター」で国際専門フォーラム「中央アジア工業週間」が開催され、平行して次の 4 展示会も行われた—  
（1）「鉱山設備」（2）「化学とプラスチック」（3）「産業包装」（4）機械製造。また、これとは別に「産業エレクトロニクスと安全システム」展示会も開催され、ウズベキスタン、ロシア、ウクライナ、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、トルコ、中国、韓国、インドネシア、デンマーク、イタリア、カザフスタンの 13 カ国から 60 以上の企業が参加した。最近 2 年間のうちにウズベキスタンで開催される工業製品およびテクノロジー展示会の数は著しく増えた。その理由としては（1）民間セクターの側からの新しいテクノロジーと設備に対する需要、（2）工業セクターの近代化問題、工業の協業発展問題に対する政府の関心増大である。

## 世界銀行が農業発展を支援

10 月 8 日、ウズベキスタン政府と世界銀行は、「ウズベキスタン農業企業支援プロジェクト第 2 段階」（RESP-II）へ総額 6,796 万ドルの国際開発協会（IDA）融資を供与する協定に調印した。プロジェクトは新規開業したフェルメル経営の生産性向上、農業の財務的・環境的安定性向上、農業ビジネス企業の収益性向上を支援する。RESP-II プロジェクトは農業支援プロジェクト第 1 段階（RESP-I）の継続であり、その成果を利用している。第 1 段階は、共和国内 5 つのパイロット地区のフェルメル経営者たちに農業企業および農業ビジネス企業の民営化とリストラをつうじて援助を行った。プロジェクトの第 2 段階は、活動範囲をウズベキスタン 7 州の 90 地域まで拡大し、収穫率向上と農機

へのアクセス改善、農業ビジネスに関するコンサルティング・サービスへのアクセス改善を目指す。プロジェクトは3つのコンポーネントで成り立っている—農業企業への融資、灌漑と排水、農村における講習とコンサルティングである。

### 電力供給発展への融資

イスラム開発銀行（IDB）理事会は、ウズベキスタン政府に国の南部への送電線建設のため **4,200** 万ドルの融資を供与することを承認した。

### 上水道改善にイスラム開発銀行が投資

ウズベキスタン政府は **2009** 年に飲用水供給改善に関する2つのプロジェクトのためイスラム開発銀行から **6,960** 万ドルの融資を受ける計画している。アンディジャン、ウルゲンチ両市の給水・下水システムの改修・拡張プロジェクトの費用 **5,830** 万ドル、フェルガナ、マルギランへの給水改善プロジェクトの費用 **1,130** 万ドルである。資金の借入れについては **2008** 年6月、IDB の評価ミッションが調査した際に予備的な合意が達成されている。両プロジェクトとも、都市と農村地域に集中式給水を保障することに関する国家プログラムに入っている。この国家プログラムの完了期限は **2012** 年である。

IDB とウズベキスタン共和国政府の財政協力プログラムに基づき、**2007**～**2009** 年の期間にウズベキスタンは保健、教育、民間ビジネスの発展分野における各プロジェクト実施のために IDB の1億 **6,000** 万ドルの融資を受け入れる計画である。

### ウズベキスタンのウラン採掘に日本の会社が投資の意向

日本の双日㈱がウズベキスタンでウラン採掘の合弁企業設立を計画中である。相応の基本合意書がウズベキスタン国家地質鉱物資源委員会との間で調印された。双日には中央キジルクム砂漠のウラン鉱区の一つにある鉱床の共同開発の可能性を調査する独占的権利が提供された。ウズベキスタンの専門家の評価によれば、調査・探鉱作業の全サイクルには3年～5年かかる。**2008** 年7月には三井物産が中央キジルクム砂漠の西コクパタスカヤ鉱区の調査に関する同様の文書に調印した。**2007** 年10月には国家地質鉱物資源委員会は伊藤忠商事との間で「ルードノエ」鉱床（中央キジルクム砂漠）の工業的開発の実現可能性調査と算定の実施に関する契約書に調印した。

## 公共サービスの新料金

10月1日より、財務省が承認した新しい天然ガス使用料金が実施された。熱供給企業向けの天然ガス卸売料金は **1,000 m<sup>3</sup>あたり 5万 6,400** スム、卸売ユーザー向けの価格は **1,000 m<sup>3</sup>あたり 7万 3,500** スムである。また、集中暖房と温水供給の新料金も導入された。企業・組織向けの熱エネルギー卸売料金は、付加価値税無しの1ギガカロリーあたり **1万 5,648** スムと付加価値税込みの1ギガカロリーあたり **1万 8,777.6** スムに設定された。工業企業と商業企業向けの水道料金は、付加価値税無しの **1 m<sup>3</sup>あたり 109** スム、下水料金は付加価値税無しの **1 m<sup>3</sup>あたり 69** スムである。

## 天然ガス節約プロジェクトに6億ドル投入

大統領の特別決定により、**2012**年までに一連の天然ガス節約プロジェクトが実施される。費用 **2億 4,760** 万ドルの最大のプロジェクトは、ノヴォアングレン火力発電所（タシケント州）のボイラーをガス燃焼から石炭通年燃焼へ転換する事業。これにより年間 **7億 m<sup>3</sup>** オーダーのガス節約が可能になる。**2010**年までにウズベキスタンは特別の政府プログラムに基づき石炭の生産を3倍に増やす意向。

## 「電力産業法」を策定中

法案「電力産業について」はすでにコンセプトとして採択され、目下、細部の詰めが行われている。法案が予定しているのは、このセクターにおける国家規制レベルの引き下げと、電力の生産・輸送・販売にかかわる経営システムと取引関係へ市場原理およびメカニズムを導入すること。

今日、ウズベキスタンで電力の保障を行っているのは会社「ウズベクエネルギー」である。同社は **52** の企業と組織を統合しており、その中には **39** の公開株式会社、**11** の資産不可分企業、2つの有限会社が含まれている。会社全体の規格発電能力は **1,200** 万 kW。電力の **86%** は **10** の火力発電所によって生産されている。水力発電所の電力生産シェアは **11.5%**、自家発電所のそれは **2.5%**。

目下、「**2010**年までのエネルギー産業における発電能力発展・改修プログラム」が実施されている。この中で基本的な関心が向けられているのは既存エネルギー施設の近代化、エネルギー資源の使用効率向上、環境への否定的影響の削減である。

## ペトロナス社がスルハングリア州の新鉱区で地質調査に着手

マレーシアの「ペトロリアム・ナショナル・Bhd」（ペトロナス）社がウズベ

キスタンのスルハンダリア州の新鉱区で地質調査を開始した。ペトロナスはスルハン投資鉱区の地質調査を行うが、この調査は5年間に**2,000**万ドルの投資を予定している。このうち**1,500**万ドルは最初の3年間に投資される。ペトロナスが地質調査にかかわる義務を遂行したあとで、生産物分与（PS）協定の締結交渉が開始される予定。ウズベクネフチェガスの資料によると、この鉱区の天然ガス予想埋蔵量は**1,250**億 $m^3$ 、液状炭化水素の予想埋蔵量は1億**3,000**万t超である。

**2008**年5月、ペトロナスとウズベキスタン政府はウスチュルト台地（共和国北西部）にあるアクチャラク・グループ鉱床のガスコンデンセート開発に関して期間**35**年のPS協定に調印した。また、ペトロナスはウズベクネフチェガスとの間で、**2008**～**2012**年に合成燃料（GTL）生産工場（費用**15**億ドル）を建設する協定に調印した。このプロジェクトはシュルタン採鉱・化学コンビナートをベースにして実施される。

### ロシアがウズベキスタンのガスパイプライン建設に参加

ウズベキスタンとロシアは、トルクメニスタンとウズベキスタンの増大する輸出力を保障するためウズベク領内に新たなガスパイプラインシステムを建設することに関して作業の開始に合意した。計画では新パイプラインの輸送能力は年間**260**億～**300**億 $m^3$ になる。現在ウズベク領内で稼働中のガスパイプラインSAT s -1 と SAT s -2（《中央アジア＝中央部》線と《中央アジア＝ブハラ》線）の輸送能力は合計で年間**540**億 $m^3$ オーダーである。

### シルクロードの復活を助ける国際プロジェクト

大陸の地域間協力発展とトランジット輸送力の拡大を目指すプロジェクト「新欧亚自動車輸送イニシアチヴ」（NELTI）が開始された。国際自動車輸送連合（IRU）の国際商業プロジェクト“NELTI”はアジア太平洋地域から欧州までの自動車貨物輸送の発展計画を現実に実施している。

プロジェクトの枠内で9月～10月までに7つの独立した輸送会社（ウズベキスタンのブニョド、BK Intrans、Central Asia Trans、ロシアの Atrim-Logistics、キルギスタンのオシメジトランス、トルコの Karadeniz、イランの Tizgaman Yakhan）が、中国西部と中部から欧州とトルコまで工業貨物と日用品の商業配送を開始する。

“NELTI”プロジェクトは最大級の国際組織と各国政府の支持を受けた。この中には国連の各地域委員会、CIS、ユーラシア経済会議、上海協力機構、その他が含まれている。プロジェクトのルートが通る各国政府がプロジェクト参加

者に“安全回廊”を保障するために特別の決定を採択することが期待されている。